



## 人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」 すららネットが経済産業省の「はばたく中小企業 300 社」に選出 ひとりひとりに最適化し、誰でも楽しく学べる「すらら」で世界の教育格差を是正

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）では、経済産業省中小企業庁が発行する「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」に選出されました。

今回の選出は、誰でも楽しく学べ、アダプティブ・ラーニング（\*）に対応する機能を備えたクラウド型学習システム「すらら」の企画・開発を行うという「ものづくり」の側面と、国外での BOP 層のニーズやビジネスの可能性を発掘し、世界の教育格差の問題を解決するという「需要創造」の側面が認められたものです。

すららネットでは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を」という理念のもと、学習塾や学校を通じて「すらら」を提供するほか、NPO 法人と連携し、低所得世帯の学習支援活動にも提供しています。

また、日本人向けのクラウド型学習システム「すらら」をもとに、海外用に作成された小学生向け算数クラウド型学習システム「Surala Ninja!」の企画・開発を行っています。スリランカでは、JICA 中小企業海外展開支援事業の採択を受け、現地における e ラーニングビジネスの展開可能性の高さを確認し、「Surala JUKU」を事業化、「Surala Ninja!」を用いることで、教師のレベルに左右されずに効果性の高い算数教育を低所得者層の子どもを中心に低価格で提供しています。日本の算数技能を学ぶことができ、同時にパソコンの使い方が身につくこと、日本流の「しつけ」（規律や自立学習）も教えることなどが生徒や保護者より高評価を受けています。さらに、「Surala JUKU」のファシリテーター（講師）として、現地の女性を積極的に採用し、女性の雇用機会創出にも繋げています。



▲スリランカの「Surala JUKU」授業風景

すららネットでは、国内のみではなく、世界に向け、今後も品質の良い教育を低価格で提供することで社会の問題を解決していきたいと考えています。

### ■「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」

日本経済の屋台骨を支える中小企業の持続的・安定的な成長を後押しすべく、「生産性向上」「需要創造」「担い手確保」など各分野での優れた取り組みを行う企業を選定したもの。革新的な製品開発やサービス創造、地域貢献・地域経済の活性化、海外での積極的な販路展開等による国際競争力強化、女性経営者を始めとした人材活用、独自の技術・サービスでの成長など、地域または世界で「はばたく」中小企業・小規模事業者を紹介し日本経済の更なる成長につなげていく取り組み。

### (\*) アダプティブ・ラーニング

生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を提示する学習方法

## ■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学1年生～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 39,000 名（2016 年 12 月末現在）

【特徴】

### ○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

### ○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

### ○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ  
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ  
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ  
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



## ■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

## ■「すらら」の人工知能

AIが個々の生徒の学習データに基づき先生の替わりに生徒と対話を行う機能「AIサポーター」を搭載。慶應義塾大学 中室牧子研究室と行った共同研究の結果を受け、「努力を促す声掛け」を中心に変更し2017年4月16日より正式運用を開始予定。生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を促す。

### ■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：13,795万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社URL：<http://surala.jp/>
- 受賞歴：
  - ・第9回日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞(2012年)
  - ・Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞(2014年)
  - ・第2回「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞(審査委員会特別賞)(2016年)
  - ・第8回「千代田ビジネス大賞」大賞(2016年)